

# ゼニゴギンガクニクバエ

ハエ目ニクバエ科

*Metopia stackeibergi* Rohdendorf

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

## 選定理由

アジア大陸系の珍しい種で、全国的にごくわずかの記録があるだけである。県内では、近年の記録がない。

## 形態

体長5～7mm。体全体は明るい灰色で黒褐色の斑紋がある。腹部は短軟毛に覆われる。目立つのは頭部で、複眼は大きい。雌雄共に眼幅よりも大きく離れ、頭部が円錐形に前方に突出しており、その側面が銀白色（特にオスで顕著）である。

## 国内分布

石川県、愛知県、鳥取県から記録されている。国外では旧北区、中国、モンゴルで記録されている。

## 県内分布

1960年代に金沢市金石での記録があるだけで、以後、確認記録がない。

## 生態

本種が属するヤドリニクバエ亜科の種は一般に幼虫がハチ類の巣に労働寄生しているので、本種もその可能性が大きい。

## 生息地の条件

砂浜にのみ生息するものと思われる。

## 生存の危機

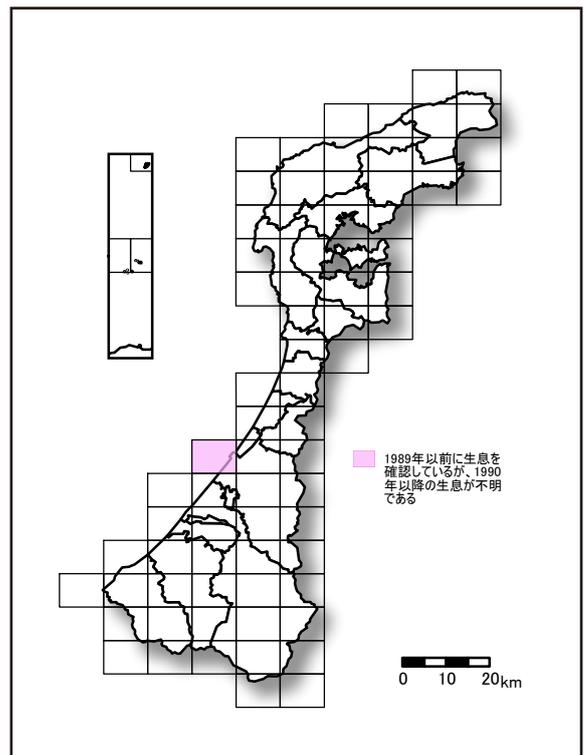
近年の調査ではまったく発見されていない。石川県では大部分の砂浜海岸で自然環境悪化が著しいので、その影響を受けているものと思われる。(A)

## 参考文献

Kurahashi, H. 1970. Studies on the calypterate muscoid flies from Japan. VII. Revision of the subfamily Miltograminae (Diptera, Sarcophagidae). Kontyu, 38 (2):93-116.



写真提供者: 国立感染症研究所



県内の分布